

第 35 期
計 算 書 類

自 2025年 6 月 1 日
至 2026年 5 月 31 日

神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号

ブックオフコーポレーション株式会社

貸借対照表

(2026年 5月31日現在)

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	30,019	流動負債	21,858
現金及び預金	2,903	買掛金	778
売掛金	4,333	短期借入金	5,775
短期貸付金	1,478	1年内返済予定長期借入金	5,928
1年内回収予定長期貸付金	25	リース債務	228
商品	18,032	未払金	3,447
前払費用	1,332	未払費用	2,672
その他	1,936	未払法人税等	883
貸倒引当金	△23	前受金	51
固定資産	18,906	預り金	316
有形固定資産	7,751	賞与引当金	1,103
建物	4,067	店舗等閉鎖損失引当金	57
構築物	240	その他の引当金	188
機械装置	3	その他	428
工具、器具及び備品	1,460	固定負債	17,339
土地	1,228	長期借入金	14,308
リース資産	746	リース債務	578
建設仮勘定	5	資産除去債務	2,262
無形固定資産	1,755	その他	190
ソフトウェア	1,664	負債合計	39,198
ソフトウェア仮勘定	75	純 資 産 の 部	
のれん	0	株主資本	9,728
その他	15	資本金	100
投資その他の資産	9,399	資本剰余金	831
投資有価証券	30	資本準備金	100
関係会社株式	282	その他資本剰余金	731
長期貸付金	77	利益剰余金	8,796
長期前払費用	21	利益準備金	17
繰延税金資産	2,213	その他利益剰余金	8,779
差入保証金	6,803	別段積立金	300
その他	100	繰越利益剰余金	8,478
貸倒引当金	△130	純資産合計	9,728
資産合計	48,926	負債及び純資産合計	48,926

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(2025年6月1日から2026年5月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		113,920
売上原価		49,754
売上総利益		64,166
販売費及び一般管理費		60,930
営業利益		3,235
営業外収益		
受取配当金	254	
自動販売機等設置料収入	107	
古紙等リサイクル収入	242	
その他	313	917
営業外費用		
支払利息	399	
その他	61	460
経常利益		3,692
特別利益		
固定資産売却益	0	
移転補償金	90	90
特別損失		
店舗等閉鎖損失	69	
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	63	
固定資産除却損	60	
減損損失	228	
関係会社株式評価損	97	520
税金等調整前当期純利益		3,262
法人税、住民税及び事業税	1,333	
法人税等調整額	△248	1,085
当期純利益		2,176

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(2025年6月1日から2026年5月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本 合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他 利益剰余金				利益 剰余金 合計
						別段 積立金	繰越 利益 剰余金			
2025年6月1日残高	100	100	731	831	17	300	8,301	8,619	9,551	9,551
事業年度中の変動額										
剰余金の配当							△2,000	△2,000	△2,000	△2,000
当期純利益							2,176	2,176	2,176	2,176
事業年度中の変動額合計	－	－	－	－	－	－	176	176	176	176
2026年5月31日残高	100	100	731	831	17	300	8,478	8,796	9,728	9,728

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

イ 子会社株式及び関連会社株式……………移動平均法による原価法

ロ その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの…時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等……………移動平均法による原価法

② 棚卸資産

商品

書籍・ソフトメディア（中古）、トレーディングカード、ホビー商材、衣料品、子供用品及び家電等……………総平均法による原価法

書籍（新品）……………売価還元法による原価法

スポーツ用品等……………主に個別法による原価法

物流センター保管商品……………主に移動平均法による原価法

その他……………主に移動平均法による原価法

（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定）

上記ソフトメディアとはCD、DVD、ビデオ、ゲーム等であります。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く） 定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法

主な耐用年数

建物及び構築物 10～22年

その他 4～10年

② 無形固定資産（リース資産を除く） 定額法

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数として、残存価額を零とする定額法

④ 長期前払費用 均等償却

(3) 重要な引当金の計上基準

- ① 貸倒引当金…………… 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金…………… 従業員に対する賞与の支給に備えるため、翌事業年度支給見込額のうち当事業年度の負担に属する部分を計上しております。
- ③ 店舗等閉鎖損失引当金…………… 店舗等の閉鎖に伴い発生する損失に備えるため、合理的に見込まれる損失額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社は主にリユース事業を営んでおり、書籍・ソフトメディアの他、トレーディングカード、ホビー商材、家電商品、アパレル、スポーツ用品、ベビー用品、腕時計・ブランドバッグ・貴金属、食器・雑貨等を販売しております。これらの商品については、店舗における顧客への商品引き渡し時点において顧客が支配を獲得し、履行義務が充足されると判断しており、当該引き渡し時点で収益を認識しております。

なお、当社は会員顧客向けのポイントプログラムを運営しており、付与したポイントは履行義務として識別し、使用実績率を考慮して算定した独立販売価格を算定して取引価格を配分することで、契約負債の金額を算定しております。契約負債は、ポイントの利用時及び失効時に取り崩しを行い、収益を認識しております。

履行義務を充足してから対価を受領するまでの期間は、通常は1年以内であるため、当該顧客との契約に基づく債権について、重要な金融要素の調整は行っておりません。

(5) のれんの償却に関する事項

のれんの償却については、効果の発現する見積期間を償却年数とし、定額法により償却しております。

2. 会計上の見積りに関する注記

有形固定資産の減損

(1) 当事業年度の計算書類に計上した金額

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	減損損失計上額
有形固定資産	7,751	213

(2) 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

①算出方法

当社は、各事業の管理区分単位ごとに資産を保有しております。

キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、店舗を基本単位としてグルーピングし、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの場合や使用範囲又は方法について回収可能価額を著しく低下させる変化があった場合等に減損の兆候を識別しております。減損の兆候が把握された場合には、将来キャッシュ・フローを見積り、割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比較することによって減損損失の要否を判定し、回収が見込めない資産又は資産グループについて、回収可能価額まで減損損失を計上しております。減損損失の認識及び測定には、減損の兆候が把握された店舗の翌事業年度予算及びそれ以降の年度の将来キャッシュ・フローの見積りを使用しております。

②主要な仮定

割引前将来キャッシュ・フローの算定は、適切な権限を有する経営者の承認を得た翌事業年度の店舗予算を基礎に算定しております。当該キャッシュ・フローは、過去の実績を基礎として、出店エリアの地域特性、営業の歴史、取扱商材のリユース市場における取引ニーズの動向を踏まえて、各店舗の将来の売上高の成長予測や店舗におけるパート・アルバイトの人件費等を検討し算定しております。各店舗の将来の売上高の成長予測や店舗におけるパート・アルバイトの人件費等については、外部の市場環境や経営環境等の変化の影響を受けるため、主要な仮定となります。

(3) 翌事業年度の計算書類に与える影響

主要な仮定の見直しが必要な市場環境や経営環境等の重要な変化が生じた場合、翌事業年度の計算書類において、追加の減損損失を計上する可能性があります。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

① 担保に供している資産

建物	166百万円
土地	476百万円
計	643百万円

② 担保に係る債務

上記に該当する債務はありません。

(注) 債務の担保に供している資産には、親会社の借入金に対して担保提供を行った当社資産を記載しております。

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 13,864百万円

(3) 保証債務

以下の債務に対し、保証を行っております。

(親会社)

ブックオフグループホールディングス㈱	金銭債務	17,222百万円
--------------------	------	-----------

(4) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

短期金銭債権	1,627百万円
短期金銭債務	11,892百万円
長期金銭債務	14,324百万円

(5) 契約負債

契約負債については、流動負債の「その他」に計上しております。契約負債の金額は、「9. 収益認識に関する注記 (3) 当事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報 ①契約資産及び契約負債の残高等」に記載しております。

4. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との営業取引	売上高	574百万円
	販売費及び一般管理費	1,699百万円
(2) 関係会社との営業取引以外の取引	受取利息	26百万円
	受取配当金	254百万円
	支払利息	373百万円

(3) 顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。顧客との契約から生じる収益の金額は、「9. 収益認識に関する注記 (1) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報」に記載しております。

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数 普通株式

20,547,413株

(2) 剰余金の配当に関する事項 配当金支払額

決議	配当の原資	配当金の総額	基準日	効力発生日
2025年8月25日 定時株主総会	利益剰余金	2,000百万円	2025年5月31日	2025年8月29日

6. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
貸倒引当金	54百万円
関係会社株式	235百万円
賞与引当金	451百万円
未払事業税	83百万円
未払事業所税	73百万円
棚卸資産	298百万円
一括償却資産	33百万円
減価償却超過額	162百万円
減損損失	236百万円
資産除去債務	822百万円
その他	234百万円
繰延税金資産小計	2,686百万円
評価性引当額	△315百万円
繰延税金資産合計	2,371百万円
繰延税金負債	
有形固定資産	△158百万円
繰延税金負債合計	△158百万円
繰延税金資産（負債）の純額	2,213百万円

7. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

①金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、銀行等金融機関からの借入により資金を調達しております。

②金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、内部管理規程に沿ってリスク低減をはかっております。

投資有価証券は主として株式であります。非上場株式は、業務上の関係を有する企業への出資であり、当該企業の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、内部管理規程に沿ってリスク低減をはかっております。

差入保証金は、主に店舗の賃貸借契約による差入保証金であり、賃貸主の信用リスクに晒されております。当該リスクに関しては、内部管理規程に沿ってリスク低減をはかっております。

短期借入金、長期借入金、リース債務は、金利の変動リスク及び資金調達リスクに晒されております。当該リスクに関しては、内部管理規程に沿った適切な資金運用を行うことでリスク低減をはかっております。

③金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2026年5月31日（当事業年度の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、「現金及び預金」、「売掛金」、「買掛金」、「短期貸付金」、「短期借入金」、「未払金」及び「未払法人税等」については、現金であること、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 差入保証金	6,803	5,929	△874
資産計	6,803	5,929	△874
(1) 長期借入金（※1）	20,237	19,979	△257
(2) リース債務（※1）	806	770	△36
負債計	21,043	20,749	△294

（※1）1年以内に返済予定の長期借入金及びリース債務を含んでおります。

（注）市場価格のない株式等は、時価を把握することが極めて困難と認められております。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

区分	貸借対照表計上額
関係会社株式	282百万円
非上場株式	30百万円

(3) 金融商品の時価の適切な区分ごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価
時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債 (単位：百万円)

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
差入保証金	—	5,929	—	5,929
資産計	—	5,929	—	5,929
長期借入金	—	19,979	—	19,979
リース債務	—	770	—	770
負債計	—	20,749	—	20,749

(注) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

差入保証金

差入保証金の時価は、合理的に見積りした差入保証金の返還予定時期及び国債の利率を基に割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

長期借入金及びリース債務

これらの時価は、元利金の合計額と同様の新規取引を行った場合に想定される利率を基に割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

8. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

種 類	会社等の名称	議 決 権 等 の 所 有 (被 所 有) 割 合	関連当事者との 関係	取引の内容	取 引 金 額 (百 万 円)	科 目	期 末 残 高 (百 万 円)
親会社	ブックオフ グループ ホールディン グス(株)	(被所有) 直接100.0%	役員の兼任	グループ資金 取引(預け) (注1)	157	短期貸付金 (注1)	1,478
				資金の借入 (注2)	16,200	短期借入金 (注2)	5,775
				資金の返済 (注2)	15,164	1年以内返済予定 長期借入金 (注2)	5,928
				利息の受取 (注2)	26	長期借入金 (注2)	14,308
				利息の支払 (注2)	373	—	—
				担保の提供 (注3)	395	—	—
				債務保証 (注4)	17,222	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 当社は、グループの資金効率化のため親会社であるブックオフグループホールディングス(株)に資金を集約しており、この資金取引にかかる取引金額はグループ資金取引に係るものであります。なお、グループ資金取引に係る取引金額は、純増減額を記載しております。
- (注2) 資金の貸付・借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
- (注3) 当社は、ブックオフグループホールディングス(株)の金融機関からの借入に対して、担保提供を行っております。
- (注4) 当社は、ブックオフグループホールディングス(株)の金融機関からの借入に対して、債務保証を行っております。

9. 収益認識に関する注記

(1) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	国内 ブックオフ 事業	プレミアム サービス 事業	計		
顧客との契約から 生じる収益	104,079	8,528	112,607	1,313	113,920
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	104,079	8,528	112,607	1,313	113,920

(注)「その他」の区分は、家庭内にある物品をお客様に代わり片づける個人向けサービス「ブックオフおかたづけサービス」の提供等であります。

(2) 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報は、「1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記 (4)収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

(3) 当事業年度及び翌事業年度以降の収益の金額を理解するための情報

①契約資産及び契約負債の残高等

契約負債は主に、会員顧客向けのポイントのうち期末時点において履行義務を充足していない残高であり、貸借対照表上、流動負債「その他」に含まれております。

(単位：百万円)

	期首残高	期末残高
顧客との契約から生じた債権	3,755	4,333
契約負債	337	337

②残存履行義務に配分した取引価格

当社においては、個別の契約期間が1年を超える重要な取引はありません。また、顧客との契約から生じる対価の中に、取引価格に含まれていない重要な取引はありません。

10. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	473円45銭
(2) 1株当たり当期純利益	105円95銭

11. その他の注記

減損損失

当社は以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

セグメント	用途	種類	場所	減損損失
国内ブックオフ事業	店舗	建物及び構築物等	BOOKOFF PLUS ヨシヅヤ新稲沢店 (愛知県稲沢市) ほか24店舗	174
プレミアムサービス事業	店舗	建物及び構築物等	Rehello by BOOKOFF 田園調布店 (東京都大田区) ほか4店舗	40
その他	事業所	ソフトウェア等	その他セグメント事業所	14

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗等を基本単位としてグルーピングしております。

当事業年度において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備等で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備等、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、回収可能価額は、店舗等については使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるため、回収可能価額を零として評価しております。

第 35 期

計算書類の附属明細書

自 2025年6月1日
至 2026年5月31日

神奈川県相模原市南区古淵二丁目14番20号

ブックオフコーポレーション株式会社

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位：百万円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額
有形固定資産	建築物	4,060	713	175 (156)	531	4,067	10,846
	構築物	208	78	11 (9)	35	240	176
	機械装置	-	3	- (-)	0	3	3
	工具、器具及び備品	1,085	876	49 (46)	453	1,460	1,954
	土地	1,223	5	- (-)	-	1,228	-
	リース資産	838	97	17 (2)	172	746	883
	建設仮勘定	0	21	16 (-)	-	5	-
	計	7,417	1,797	269 (213)	1,193	7,751	13,864
無形固定資産	ソフトウェア	1,959	314	11 (11)	598	1,664	-
	ソフトウェア仮勘定	84	312	321 (-)	-	75	-
	のれん	3	-	- (-)	2	0	-
	その他	15	-	- (-)	-	15	-
	計	2,063	627	333 (11)	600	1,755	-

(注) 「当期減少額」欄の()内は内書きで、減損損失の計上額であります。

2. 引当金の明細

(単位：百万円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	170	154	170	154
賞与引当金	763	1,103	763	1,103
店舗等閉鎖損失引当金	15	57	15	57
その他の引当金	180	188	180	188

3. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：百万円)

科目	金額	摘要
荷造発送費	1,393	
広告宣伝費	2,600	
給与手当	6,153	
賞与	598	
賞与引当金繰入額	1,100	
パート・アルバイト給与	17,537	
地代家賃	10,495	
支払手数料	8,262	
水道光熱費	1,426	
消耗品費	1,927	
その他	9,435	
計	60,930	